

保護者や地域の皆様へ ～緊急メッセージ～

日頃より、保護者や地域の皆様おかれましては、うるま市の子供たちの健全育成に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

先日、新聞報道でもありましたように、飲酒により市内の中学生4名が補導されました。

これまで市内の小中学校では、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康に関する内容を、小学校では体育科保健領域、中学校では保健体育科保健分野を中心に指導するとともに、警察等の専門職を招聘し特設授業なども行いながら指導しています。

しかし、今後、同様の事件が起こらないようにするためには保護者や地域の皆様との連携が欠かせません。

保護者や地域の皆様には「未成年者飲酒を防ぐために大人ができること」として次の3点に御協力をお願いいたします。

第一に、毅然とした態度をとるということです。

大人が「未成年者飲酒は絶対にいけない」と毅然とした態度をとりましょう。

少しなら…、正月だから…と例外を作ってはいけません。

第二に、飲酒がいけない理由を説明するということです。

体や脳に悪いから、事故にあわないように、法律違反など、未成年者の飲酒がいけない理由をきちんと説明し、自分自身を守るためと、理解させましょう。

第三に、日頃から「話ができる関係」をつくっておくということです。

子供が大人の言葉を素直に聞くために、ふだんからコミュニケーションをとることが大切です。いつもは話をしないのに、頭ごなしに飲酒をとがめても反発します。言いやすく、子供が受け入れやすい関係をつくりましょう。

今後、保護者や地域の皆様におかれましては学校と連携しながら子供たちの健全育成に御協力をお願いいたします。

令和4年5月

うるま市教育委員会教育長

嘉手苺 弘美